

成田剣道連盟だより

発行：成田剣道連盟 広報委員会

Tel：0476-42-6294

令和6年度も猛暑が続きましたが、下期に入り、ようやく涼しくなってきました。連盟の皆様も、一層稽古に励んでおられることと思います。

上期には、8月11日に愛知県名古屋市で行われた剣道八段審査会において、本連盟所属の中村充先生が見事合格され、剣道八段位に昇段されました。今回の巻頭では、まず中村充先生のメッセージをお届けします。

その後、女子稽古会、昇段審査の寄稿文、大会結果などを紹介いたします。

八段合格にあたって

中村 充

この度、愛知県名古屋市で実施された審査会（令和6年8月）において、八段に合格することができました。まず初めに、日頃よりお世話になっている秋葉会長をはじめ成田剣道連盟の方々に、深く感謝申し上げます。

平成4年4月に千葉に移り住んだ際、アパートの目の前にあった富里社会体育館を見学し、萩原忠市先生・秋葉正孝先生にお世話になりながら富里剣友会稽古に初めて参加しました。その後、成田剣連の稽古会に参加し、瀧口正義先生や齋藤輝男先生の厳しくも優しさある稽古に接することができました。それから、30年以上にわたり、成田剣連の一員として活動させていただいております。



私は普段、印西市にある順天堂大学に勤務し、スポーツコーチングを中心とした授業を展開する傍ら、剣道部の指導を担っています。指導する学生の中には医学部生も含まれますが、多くは剣道の専門的資質の向上とともに大会勝利を目指して全国各地から集まっています。そのため、学生と一緒に道場に立つ際は、学生の

ニーズを最優先と考えています。一方で、自分の剣道を見つめ直す際には“師弟同行”の体現を目指してはいますが、高段位審査に向かう自分自身の研鑽のためには、大人の方々との稽古機会が不足していることを認識していました。仕事柄もあって全国の様々な先生方と繋がりを得て、貴重なご教示いただく機会は多々ありましたが、定期的に外部の稽古に出向く機会は限られていました。特にコロナ禍以降は、外に出ることがさらに難しくなり、現在の環境下でどのように落ち着いて自分の稽古に取り組むかを考えました。成田剣連の稽古会を自分の基盤となる稽古機会として捉え、米元先生や大村先生をはじめとした諸先生と剣を交える中でいただくメッセージは、その後に学生と稽古において自己の剣道にどう生かすのかを常に考えさせられました。この取り組みの繰り返しですが、今回の合格という結果に結びついたのではないかと考えております。あらためて、成田剣連の皆様ならびに大学生諸君にも、感謝するばかりです。

これからも変わらずに取り組みたいと考えていますが、一方で、周囲の方々に恩返しできればという思いを強く感じています。まだまだ私自身の力不足は否めませんが、前述したような全国の様々な先生方よりいただいたご教示や私の拙い経験を伝えられる機会があれば、皆様の目指す活動の一助となるよう貢献したいと思っております。また、教員など指導者を志す学生が多くいる職場であり、そのような環境もご活用いただければ、子どもたちも含めた会員の方々や学生にとって相互に良い影響が生まれるのではないかと期待するところもあります。

重ねて、成田剣連の皆様にご感謝申し上げますとともに、今後ともご指導いただけますようお願い申し上げます。

(ご参考)

成田剣道連盟主催で、中村先生の剣道八段昇段祝賀会が下記のとおり開催されます。盛会となりますことをお祈り申し上げます。

1. 期日 令和6年12月15日(日)
受付 11:00～、祝賀会 11:30～14:00(予定)
2. 会場 ホテルウェルコ成田
〒286-0033 千葉県成田市花崎町818-1

次に女子稽古会の様子をお伝えします。また、前回の連盟だより発行以降今号までの間に七段に合格された方々の寄稿文をご紹介します。

「成田剣道連盟女子稽古会」の様子

成田剣道連盟の女子稽古会は毎月1回、富里社会体育館剣道場で開催されています。毎回10～15名程度の参加者がおり、成田剣道連盟所属の方だけでなく、佐倉や香取などからも参加者を受け入れ、志を同じくする方々との交流を深めています。

参加者は様々、学生時代から続けている方はもちろん、お子さんが始めたのをきっかけに始めた方、再開した方、病気から復活された方などが共に稽古しています。稽古は、日本一充実していると評される準備体操とストレッチに時間をかけ、準備が整ったところで素振りに入ります。



秋葉知恵子先生の分かりやすく丁寧な指導により、短い間でもみなさんの素振りが向上しているのが感じ取られました。素振りの後は日本剣道形の稽古が行われ、みなさんが真剣な眼差しで剣道形に取り組んでいる姿が見られました。

最後は防具をつけての基本稽古、地稽古に入りましたが、あっという間の2時間半でした。今後も成田周辺的女子剣道会のネットワークが拡大し、発展していくことを祈っています。



※取材は6/30（日）に行いました。



「剣道七段までの道のりと御礼」

東邦大学附属東邦中学校・高等学校 教諭 中野雅貴

この度、令和6年8月24日に行われた剣道七段審査会（於：宮城県仙台市）で、昇段することができました。日頃よりお世話になっております成田剣道連盟の先生方には、心より御礼申し上げます。

私は愛媛県出身で、平成19年に順天堂大学へ進学し、学生時代、剣道四段審査を受審する際に成田剣道連盟に加入させていただきました。当時の私は、日々の稽古で立ち合った相手に、どんな手を使ってでも勝つことしか考えていませんでした。そんな私に対しても、千葉県の先生方は、丁寧に稽古やご指導をいただき、剣道の価値観が大きく変わっていったことを覚えております。

そして、四・五・六・七段と、この地でお世話になって17年があつという間に過ぎ、今年で36歳となりました。現在は、習志野市での勤務が9年目となりました。遠方で勤務を言い訳に、成田での活動には、なかなか参加できておりませんが、事あるごとに先生方に温かい言葉をいただき、有り難い限りです。

まだまだ未熟者ではありますが、一生修行という言葉に胸に、剣道を通じて少しでも恩返しができるばと思っております。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



（昇段・称号関係）

中野先生の他、以下の先生方が昇段、称号取得をしております。

七段：武士田 眞佐子先生

教士：渡邊 正男先生

錬士：木暮 浩良先生、安部 智先生

5月26日に行われた剣道級位審査会、7月27日に行われた成田剣道連盟会長杯の大会結果を報告します。

剣道級位審査会

表記審査会は5月26日（日）、大栄 B&G 体育館アリーナにて開催されました。午前中は一級、午後は二級、三級の審査が行われました。

冒頭の秋葉会長の挨拶では、受審者数の減少に対する危機感と、剣道人口増加への期待が述べられました。会長からは、剣道人口増加のために、受審者一人ひとりが積極的に友達を誘い、剣道の楽しさを広めていくことが期待されていることが伝えられました。



その後、合否に関わらず、日頃の先生方からの指導を踏まえ、審査での自分のパフォーマンスを振り返り、自分が各コートで精一杯力を出し切れたかどうかを反省し、それを次に活かしてもらいたいというメッセージが出されました。

また、コロナ禍におけるマスク着用や発声制限の影響で、立ち合いが消極的になっていた可能性が指摘され、今回の審査においては、立ち合いで気力を充実させ、相手を圧倒する気迫あふれる一本を期待する、と締めくくられました。

なお、今回の受審者数、合格率は以下の通りです。

級	項目	受審者数	合格者数	合格率
一級	男子	64名	60名	92%
	女子	41名	41名	100%
二級	男子	22名	21名	95%
	女子	12名	12名	100%
三級	男子	12名	12名	100%
	女子	6名	6名	100%



第 10 回成田剣道連盟会長杯争奪剣道選手権大会（小学生の部） 兼 第 72 回千葉県地区連盟対抗剣道優勝大会小学生の部選考会

7月27日（土）、重兵衛スポーツフィールド中台（成田市体育館 アリーナ）にて、通称「成田剣道連盟会長杯」が開催されました。本大会は、成田剣道連盟に所属する小学生剣士のチャンピオンを決定するとともに、11月に開催される千葉県地区連盟対抗優勝大会の代表選手を選考する目的で行われています。

開会式では、秋葉会長から大会の重要性について、次の3点が強調されました。まず、試合は簡単には勝てないものであり、普段の稽古で培ってきたことをこの場で発揮することが、今日の最大の課題であるということ。次に、試合に勝つためには技術だけでなく、相手に負けない強い気持ちを持つことが重要であり、気合を入れ、相手に自分の気持ちをぶつけることが大切だということ。最後に、応援してくれる人々への感謝の気持ちを忘れず、保護者の方々の応援を力に変えて、素晴らしい試合をしましょう、と締めくくられました。

大会の結果は下記のとおりです。13団体が参加し、8名の代表選手候補が選出されましたが、7つの異なる団体から選出されるなど、各団体のレベルは非常に拮抗しており、実力差は僅かです。11月に行われる地区連盟大会に向けて、さらなるレベルアップが期待されます。

[小学生の部]

- 優勝：新島 雅人（桜台剣友会）
- 準優勝：武井 海音（成邱剣志会）
- 三位：坂上 悠翔（桜台剣友会）
- 四位：辻本 暁也（慈心塾）
- 五位：芝野 湊叶（成田剣友会）
- 六位：湊 大貴（北総中央剣友会）
- 七位：伊東 優輝（白井剣道スポーツ少年団）
- 七位：水落 瑛太（富士スポーツ少年団）



別途開催された中学生男子の部の結果は以下の通りです。

[中学生男子の部]

- 優勝 横山（七次台中学校）
- 準優勝 安斎（栄中学校）
- 第3位 澤田（公津の杜中学校）
- 第4位 西岡（桜台中学校）
- 第5位 堀部（成田中学校）

[中学生女子の部]

- 優勝 大塚（成田中学校）
- 準優勝 吉野（木刈中学校）
- 第三位 伊藤（成田中学校）
- 第三位 佐藤（富里中学校）

編集後記

今回、女子稽古会を現地で取材しましたが、やはり原稿をメールでやり取りするよりも、自分の足で現場を訪れ、自分の目で確かめ、感じることの重要性を改めて実感しました。今後も取材を増やし、ライブ感を伝えていきたいと思います。また、各種大会の取材なども積極的に行い、広報活動をさらに充実させ、成田剣道連盟の会員増強と発展に貢献していきたいと考えています。

なお、成田剣道連盟のホームページに掲載予定の各道場の紹介ページですが、担当者多忙のため、調整が遅れております。原稿を〆切通りにご提出いただき、大変感謝しております。目途が立ち次第、至急対応いたしますので、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

広報委員長：武藤輝久男、副委員長：上田泰久、広報委員：佐藤太、花島弘樹